

私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

2014(26)年 週 報

3月30日
第5聖日
3345号

「宣教の労苦」
(I テサロニケ連続講演第6回)

聖言

ご存知のとおり。私たちは今まで、へつらいのことばを用いたり、むさぼりの口実を設けたりしたことはありません。神がそのことの証人です。 I テサロニケ2:5

礼拝の恵み①

「御使いたちはみな、御座と長老たちと四つの生き物との回りに立っていたが、彼らも御座の前にひれ伏し、神を拝し」(黙示七ノ一二)

人間の本質は神様を礼拝することです。被造物の最高の存在である御使いと四つの生き物と人間の最高の二十四人の長老が冠を外して礼拝する神様を私たちも聖日ごとに教会で共に礼拝すること喜びはなにもにもかえられません。そこにおいて開かれる祈りと賛美と御言葉は礼拝にかかせないものです。ゆえに礼拝を度外視した、聖書の解き明かし、祈り、賛美は意味がありません。天国は礼拝だけなら行きたくないという方があります。これは幼稚な考えです。宇宙の中心は、人間の最高の行為は神を礼拝することです。なぜなら、人間は神を礼拝するために創造されたからです。礼拝を何者にもまさって最優先にすることです。神を喜び、満たされ、楽しみ、安息することです。イザヤ、ダニエルもペテロもヨハネも礼拝すべきお方を見て、自己のきよさ、犠牲、愛も数える似たらないことを示され、恥じ赤らみましました。宇宙、人類の中心は礼拝で始まり、礼拝で完成するのです。神が一番注目している礼拝に参加できることはいかに驚くべきことでしょう。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一四年三月三日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「動機の純粹性」 (一テサロニケ連続講演第5回)

「兄弟たち。あなたがたが知っているとおりに、私たちがあなたがたのところに行ったことは、むだではありませんでした。ご承知のように、私たちはまずピリジで苦しみ会い、辱めを受けたのですが、私たちの神によって、激しい苦闘の中でも大胆に神の福音をあなたがたに語りました。」 (一テサロニケ二ノ一、二)

パウロは、激しい迫害の中でも大胆に福音を宣べ伝え、多くの人々をイエス様のもとに導いた原動力はどこにあったか。それは迷いや不純な心、すなわち人を喜ばせたり、自己を喜ばす売名行為でなく、神を喜ばせることである。すなわち動機の純粹せいである。メソジストの創立者、キリスト者の完全をあらわしたジョン・ウエスレーは結果より神を喜ばせると言う動機の純粹性を重要視した。

二〇一四年 三月二六日午後七時 祈禱会 山本牧師

「エゼキエルの召命」

「第三〇年の第四の月の五日、私がケバル川のほとりで、捕囚の民とともにいたとき、天が開け、私は神々しい幻を見た。それはエホヤキン王が捕囚と名づけて連れて行かれてから五年目であった。」 (エゼキエル一ノ一、二)

エゼキエルは祭司フジの子であり、エホヤキン王と一緒にバビロンに捕囚された。ケバル川はユダヤ人の難民キャンプがあった。そこで神々しい幻を見たのである。神は選民を見捨てたまわず、ご自身を神の祭司に現してください。ということは、現代の異教社会においても神々しい臨在をもって私たちにも顕れてくださる。

宣教⑮

第三課 歴史の主人公になられた神

—世界宣教の歴史—

三、六、二 現代宣教第二期…内陸宣教時代 (内陸地域へ一八六五〜一九八〇年)

代表的な宣教師 ハドソン・テラー

—一八五四年に中国の内陸に入り中国服と弁髪で活動した。中国の現地に超教派の宣教団体である中国内地伝道団 (China Inland Mission—OMF) を設立した。

—「中国の霊的必要と欲求」という本を書き、中国宣教の必要性を力説し、同労者を募った。

—独身女性を受け入れ、宣教師の妻にも宣教師の資格を与えた。

—テラーが亡くなった際には一五〇〇人の献身者が中国内陸で働いており、「信仰による宣教」にならう約四〇の宣教団体が設立された。

—SWMによって、一八〇〇〜一八九〇年代に二万人の「派遣される宣教師」、八万人の「送り出す宣教師」が輩出した。

—一九四〇年には世界の大部分の地域に教会が建てられ、その教会が地域社会に伝道さえすれば、世界の福音化が完成すると考えた。(ワイ・ミッシェンより)

四月二〇日 (日) 礼拝後教会総会をおこないます。

教会員は全員出席しましょう。欠席される方は委任状を提出してください。

牧場

高橋英子姉はイエス様の花嫁として天国に召されました。
御主人正雄兄、ならびにご遺族のうえに神様の慰めをお祈りください。

召天 三月二三日(日)午後〇時三十分

前夜式 三月二三日(日)午後七時 於…自宅

告別式 三月二四日(月)午後〇時三十分 於…教会

二〇一四(平成二六)年イースター年度末克己献金

四月の行事計画

四日(金) 月に一度の祈祷会 午後一時

六日(日) 役員会

八日(火) 納骨堂掃除 午前一〇時

一七日(木) 榎原家家庭集会 午後一時半

二〇日(日) イースター 礼拝後教会総会 **教会員は全員出席。**

二七日(日) **庄司信幸兄記念礼拝**

国際飢餓対策機構報告会 清家氏

※ 四月会計役員 山村姉 庄司姉 榎原姉 守屋姉

第十五回癒し五〇日連続祈祷

三月一七日(月)～五月五日(月)

午後一時～午後二時半 (祈りの後、楽しいティーで休憩)

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

今年の教会受難カレンダー

- ① 灰の水曜日 三月五日(水)
 - ② 四旬節(レント) 三月五日(水)～四月一九日(土)
 - ③ 棕櫚の主日… 四月一三日(日) マタイ二二ノ一～十一、ヨハネ十二ノ十二～十九
 - ④ 受難週 四月一三日(日)～四月一九日(土) マタイ二二～二七章、ヨハネ十二～十九章
 - ⑤ 洗足木曜日 四月十七日(木) ヨハネ十三ノ一～十七
 - ⑥ 受難日 四月一八日(金) ルカ二三ノ三三
 - ⑦ イースター 四月二〇日(日) マタイ二八ノ二～四
 - ⑧ 昇天日 五月二九日(木) マルコ一六ノ一九ルカ二四ノ五一
 - ⑨ 聖霊降臨日 六月八日(日) 使徒二ノ一
- イースター連続講演
- 四月六日 最後の晩餐 ルカ二三ノ一～三〇
- 四月二三日 十字架 ルカ二三
- 四月二〇日 復活の主 ルカ二四ノ一～二二
- 四月二七日 エマオの途上 ルカ二四ノ二七～三五